

学校教育目標：「心豊かで実践力のある児童の育成」

合言葉：『5つの大好き「友達」「自分」「勉強」「運動」「川東」』

校報

川東小だより

令和7年7月18日
真庭市立川東小学校
7月号



1 学期が終了！楽しい夏休みを！



本日、無事に1学期が終了しました。子どもたちが元気に終業式を迎えられたことを何より嬉しく思います。1学期間、保護者・地域の皆様には多くのご支援をいただき誠にありがとうございました。

終業式では、各学年の代表6名が「1学期にがんばったこと」と題した作文を読みました。全校の前で、堂々と大きな声で発表することができました。発表しなかった児童も、作文は書いています。一人一人に頑張ったことがあり、とても嬉しく思っています。

さて、いよいよ夏休みです。登校日を含めて40日間あります。夏休みは、「学校を離れ、家庭や地域で学ぶ期間」です。時間的に余裕のある夏休みだからこそ、子どもたちが様々な体験活動をしたり、読書やお手伝いなどに続けて取り組んだりするのにとてもよい機会です。終業式では、子どもたちに「やかんの湯沸かし」のお話をまじえて次のような話をしました。

やかんで湯を沸かすとき、「強火でも途中でやめたら水に戻る」、「弱火でも、熱し続ければお湯になる」。子どもたちには、この夏休みにどんな「やかん」に火をかけるのか決めること、そして弱火でもいいから「やかん」に火を絶やさないようにすること、そんな夏休みにしてほしいと伝えました。

加えて、火を強くしてやかんのお湯を沸騰させること、すなわち「夢中」になれることを見つける夏になれば、なお素晴らしいです。弱火のやかん、思い切り強火のやかん・・・、沸かしたいやかんが見つかる夏にしてほしいと思います。

○お手伝いを毎日する

○体力づくりに取り組む

○時間をかけて、工作や絵に取り組む

○生き物や植物を育てて 観察する

○シリーズものの本を読み切る

○自主学習に取り組む など

誰かに言われてするのではなく、子どもたち自身が決めることがとても大切だと思っています。保護者の皆様には、子どもたちが決めた「やりたいこと」を見守り、応援していただければと思います。

心も体もひとまわり大きく成長した子どもたちに、2学期にまた笑顔で会えることを楽しみにしています。

学校保健委員会

7月3日（木）2校時目に、学校内科医の松坂先生にお越しいただき学校保健委員会を開きました。

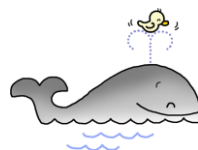
まずは、松坂先生に「睡眠について」お話をいただきました。どうして睡眠が必要なのかについて、クイズも入れながらとても分かりやすく教えていただきました。

次に全員で「ストレッチ体操」で体を動かし、その後、保健委員会の子ども達による「ABCクイズ」を行いました。子どもたちが考えた健康に関するクイズは、そうなんだ・・・と感心させられるもので、とても勉強になりました。

PTAの役員さんや保健安全部の皆様、子ども達、職員と一緒に学ぶ大変良い機会となりました。



百人一首大会 青龍戦&桃香戦



川東小学校の特色となっている「百人一首大会」が行われました。今年はたくさんの子どもたちが大会に参加できるように、やり方を少し変更しました。今までは各クラスで予選会が行われ、勝ち残った児童4名が大会に進んでいましたが、今年は子どもたちが青・桃・黄・緑・橙の5色のうち出場したい色を自分で決め、必ず1回は大会に出場してもらい、大会のドキドキ感を体験してもらうことにしました。

7月10日（水）に青龍戦、7月11日（木）に桃香戦が行われました。各学年からの出場者4名ずつ合計24名が低・中・高学年に分かれてトーナメント戦を行い、それぞれ3名のチャンピオンを決めます。その後、3名が総当たり戦を行い、グランドチャンピオンを決めます。今年は青龍戦を5年生の松岡蓮大朗さん、桃香戦を5年生の畑本華穂さんが制しました。

大会の様子は、タブレットを使って各教室にも配信されています。大会が行われた家庭科室では、負けて悔し涙を流す子どもの様子も見られ、子どもたちが本気で取り組んできたことが伝わってきました。また自分の試合が終わったあとも、クラスの友だちを拍手で応援する姿も見られ、心が温くなりました。百人一首大会では、必ず勝敗がつくので、子どもたちの心が大きく動きます。「喜び」だけでなく、時には「悔しさ」を味わうことで、心がもっと強くなり、自分が成長していくのかもしれない。この百人一首大会が、子どもたちの成長につながってほしいと思っています。



青龍戦 チャンピオン
松岡 蓮大朗 さん



桃香戦 チャンピオン
畑本 華穂 さん



青龍戦 出場者全員で



桃香戦 出場者全員で